



# Fibre Channel Common Transport 管理セキュリティの設定

この章では、Cisco MDS 9000 シリーズ スイッチの Fibre Channel Common Transport (FC-CT) 管理セキュリティ機能について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [Fibre Channel Common Transport の概要 , on page 1](#)
- [設定のガイドライン, on page 2](#)
- [Fibre Channel Common Transport クエリーの設定, on page 2](#)
- [Fibre Channel Common Transport 管理セキュリティの確認, on page 3](#)
- [デフォルト設定, on page 3](#)

## Fibre Channel Common Transport の概要

FC-CT 管理セキュリティ機能により、ストレージ管理者またはネットワーク管理者だけが、スイッチに対してクエリーを送信し、情報にアクセスできるようにネットワークを設定できます。このような情報には、ファブリック内のログインデバイス、ファブリック内のスイッチなどのデバイス、デバイスの接続方法、各スイッチのポートの数、各ポートの接続先、設定済みゾーンの情報、ゾーンまたはゾーンセットの追加と削除の権限、ファブリックに接続するすべてのホストのホストバスアダプタ (HBA)の詳細などがあります。



**Note** Cisco MDS NX-OS Release 6.2(9) では、FC 管理機能はデフォルトで無効です。FC 管理機能を有効にするには、`fc-management enable` コマンドを使用します。

FC-CT 管理クエリーを送信し、管理サーバーへの要求を変更できる pWWN を設定できます。いずれかのモジュール (ゾーン サーバー、ゾーン分割されていないファイバ チャネル ネーム サーバー (FCNS) 、またはファブリック コンフィギュレーション サーバー (FCS) など) が FC-CT 管理クエリーを受信すると、FC 管理データベースに対する読み取り操作が実行されます。FC 管理データベースでデバイスが検出されると、付与されている権限に基づいて応答が

送信されます。デバイスが FC 管理データベースにない場合は、各モジュールが拒否を送信します。FC 管理が無効な場合、各モジュールが各管理クエリーを処理します。

## 設定のガイドライン

FC 管理セキュリティ機能には、次の設定に関する注意事項があります。

- Cisco MDS スイッチで FC 管理セキュリティ機能が有効な場合、管理クエリーを送信するデバイスのポート ワールドワイド ネーム (pWWN) が FC 管理データベースに追加されていないと、サーバーへのすべての管理クエリーが拒否されます。
- FC 管理を有効にすると、N\_Port Virtualization (NPV) スイッチから N\_Port Identifier Virtualization (NPIV) スイッチへの FC-CT 管理サーバー クエリーが拒否されます。FC 管理セキュリティ機能を有効にした後で、NPV スイッチのスイッチ ワールドワイド ネーム (sWWN) を NPIV スイッチの FC 管理データベースに追加することが推奨されます。

## Fibre Channel Common Transport クエリーの設定

FC-CT 管理セキュリティを設定するには、次の手順を実行します。

### Procedure

#### ステップ 1 switch# **configure terminal**

コンフィギュレーション モードに入ります。

#### ステップ 2 switch(config)# **fc-management enable**

```
switch(config)#
```

FC-CT 管理セキュリティを有効にします。

#### ステップ 3 switch(config)# **fc-management database vsan 1**

FC-CT 管理セキュリティ データベースを設定します。

#### ステップ 4 switch(config-fc-mgmt)# **pwwn 1:1:1:1:1:1 feature all operation both**

pWWN を FC 管理データベースに追加します。また、pwwn コマンドを設定するときには次に示すオプションのキーワードも使用できます。

- **fcs** : ファブリック コンフィギュレーション サーバーに対する FC-CT クエリーを有効または無効にします。
- **fdmi** : FDMI に対する FC-CT クエリーを有効または無効にします。
- **unzoned-ns** : ゾーン分割されていないネーム サーバーに対する FC-CT クエリーを有効または無効にします。
- **zone** : ゾーン サーバーに対する FC-CT クエリーを有効または無効にします。

**ステップ 5** switch# show fc-managment database

設定された FC-CT 管理情報を表示します。

## Fibre Channel Common Transport 管理セキュリティの確認

**show fc-management database** コマンドは、設定されている FC-CT 管理セキュリティ機能の情報を表示します（次の例を参照）。

### Fibre Channel Common Transport クエリーの表示

```
switch# show fc-management database
```

```
-----
VSAN PWWN FC-CT Permissions per FC services
-----
1 01:01:01:01:01:01:01:01 Zone (RW), Unzoned-NS (RW), FCS (RW), FDMI (RW)
1 02:02:02:02:02:02:02:02 Zone (R), Unzoned-NS (R), FCS (R), FDMI (R)
1 03:03:03:03:03:03:03:03 Zone (W), Unzoned-NS (W), FCS (W), FDMI (W)
-----
Total 3 entries
switch#
```

FC 管理セキュリティ機能が有効であるかどうかを確認するには、**show fc-management status** コマンドを使用します。

```
switch# show fc-management status
```

```
Mgmt Security Disabled
```

## デフォルト設定

次の表に、Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチの FC 管理セキュリティ機能のデフォルト設定を示します。

**Table 1:** デフォルトの FC 管理設定

パラメータ	デフォルト
FC-management	ディセーブル



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。